

研究課題番号	2-1703
研究課題名	地球温暖化に関わる北極ブラックカーボンとダスト粒子の動態と放射効果
研究実施期間	平成 29 年度～令和元年度
累計予算額	139,869 千円
研究機関名	東京大学
研究代表者名	小池 真

1. 評価者の指摘及び提言概要

北極圏における BC 動態と放射影響の実態把握精度を向上させたほか、酸化鉄粒子について新たな知見を得、Nature Communication 誌に投稿していることは評価が高い。北極評議会報告書、IPCC レポートなどにおいて世界をリードし日本の研究科学力のプレゼンス向上に寄与している。期待以上の成果をあげている。

課題全体として、新規性が高く質の高い成果が得られたと評価する。科学的なインパクトのみならず、北極評議会オブザーバー国として、今後の北極海の在り方を考える上での政策的視点からもインパクトの高い成果と考える。サブテーマ単位でも 1、3、4 からは、北極域での大気観測、雪氷分析、また、アイスコア分析データから、新規性の高いデータが得られており、また新たに BC や酸化鉄を要素として加えたモデル計算により、新たな知見となる結果が得られた。一点、サブテーマ 2 では、これまでの継続的な観測データ取得の意味は理解するものの、北極域で新たに得られたデータとの関係を踏み込んで解析して欲しかった。

2. 評点

総合評点：S